

# FRIENDSHIP2.0 プロジェクト

## ニュースレター 第3号 2022年10月発行

### 目次

1.JICAプロジェクトチーム 第2回渡航	P2	6. JICA教育協力ウィーク イベントへの登壇	P5
2.FRIENDSHIP2.0共同研究 プログラムPRイベント実施	P3	7. FRIENDSHIP2.0奨学生プログ ラム修了生交流会実施	P5
3.三菱ケミカルグループと IITH教員の意見交換会	P3	8. ジャパンデスク ロゴコンテスト開催	P5
4.FRIENDSHIP2.0奨学生向け渡 日前オリエンテーション実施	P4	9. 今後の活動予定	P6
5.FRIENDSHIP2.0 奨学生 プログラムPRイベント実施	P4		



(アンビカ准教授のラボ)



(ジャパンデスクにかかる職員)  
サンギータさん（左）、プラニタさん（右）

IITH ジャパンデスクではポータルサイトを開設しました。  
IITHと日本の連携を促進するための情報を随時更新しています。  
以下のURLから▼ QRコードは▶  
<https://www.iith.ac.in/japandesk/>



## 1. JICA プロジェクトチーム第 2 回渡航 (2022 年 8 月)

8 月 7 日から 27 日にかけて、JICA プロジェクトチームメンバー 2 名が渡印し、FRIENDSHIP2.0 プロジェクト(以下、本プロジェクト)の以下の活動を実施しました。

- FRINEDSHIP2.0 共同研究補助金 PR イベント(詳細は 2 番記事に記載)
- FRIENDSHIP2.0 奨学金プログラム PR イベント(詳細は 5 番記事に記載)
- 長期研修員プログラム 2022 渡日前オリエンテーション
- FRIENDSHIP2.0 共同研究助成プログラム第 1 バッチ 調達監査
- PR を目的とした研究責任者(Principal Investigator、以下、PI) インタビュー

4 月以来の渡航となり、インド側プロジェクト関係者である FRINEDSHIP2.0 共同研究の 12 名の PI、本プロジェクトプロジェクトダイレクターの B.S ムルティ学長(B.S.,Murty Director)、同プロジェクトマネージャーのタルン・カンティ・パンダ教授(Prof. Tarun Kanti Panda)とプロジェクトの進捗について共有する場を持ちました。

打ち合わせでは、日本側、インド側双方による活発な意見交換がなされたことで、カウンターパートの本プロジェクトへの熱量及びコミットメントの高さを感じる良い機会になったと同時に、JICA プロジェクトチームとの一体感を確認する機会となりました。



(写真 1: ムルティ学長らと JICA プロジェクトチームとの打ち合わせ)



(写真 2: ジャパンデスクによる調達監査)



(写真 3:スリヤ教授へのインタビュー)



(写真 4: アニミカ准教授へのインタビュー)

## 2. FRIENDSHIP2.0 共同研究助成プログラム PR イベント実施 (2022 年 8 月)



(写真 5:PR イベントの様子)

8 月 17 日、FRIENDSHIP2.0 共同研究助成プログラム 2023(第 2 期)の募集に先立ち、PR イベントを開催しました。同プログラムは、科学技術分野における日本の学術機関、日本企業との共同研究に対して、インド工科大学ハイデラバード校 (Indian Institute of Technology Hyderabad 以下、IITH) の教員に助成を行い、日印連携を促進することを目的としています。同イベントには、40 名以上の参加があり、日本との連携に対する IITH 教員の関心が高まっていることが窺われました。

## 3. 三菱ケミカルグループと IITH 教員の意見交換会 (2022 年 8 月)



(写真 6:三菱ケミカルグループとの意見交換会)

ジャパンデスクは、JICA プロジェクトチームメンバーの佐野(工学教育担当)の所属する三菱ケミカルグループの研究者と IITH 教員との産学連携共同研究に関する意見交換会を 8 月 22 日にオンラインで実施しました。当日は IITH から研究開発部長をはじめ 16 名の教員とジャパンデスク担当者が参加し、三菱ケミカルグループからは三菱ケミカル株式会社と三菱ケミカルシステム株式会社から 5 名の研究者やスタッフが参加しました。IITH から産学共同研究についての現状と戦略、そして三菱ケミカルグループからは脱炭素化をはじめとする環境変化に対応する研究ニーズの紹介やオープンイノベーションにおける外部パートナーとの連携方針などの説明があり、続いて質疑応答と議論を行いました。化学、素材、IT ビジネス、ライフサイクルアセスメント(LCA)などについて活発な意見交換が行われました。

日頃日本企業との交流が少ない IITH 教員陣にとって学びの多い機会となりました。教員陣からはとても良い会合だった、会社が何に关心を持っているか理解できた、現在および将来の技術開発方針を知ることができた、といった高い評価を得ました。日本企業との顔の見える交流になり、日印産学連携を進めるきっかけづくりになりました。オープンにご説明、議論いただきました三菱ケミカルグループからの参加者の皆様に感謝申し上げます。

## 4. FRIENDSHIP2.0 奨学生向け渡日前オリエンテーション実施 (2022年8月)

ジャパンデスクおよび JICA プロジェクトメンバーは、本プロジェクトが実施する奨学金プログラム第 1 バッチに選ばれた長期研修員 6 名を対象とした、渡日前オリエンテーションを 8 月 23 日にオンラインにて実施しました。

オリエンテーションは二部に分けて開催されました。第 1 部では、FRIENDSHIP 2.0 奨学金プログラムの説明や長期研修員に期待される役割、奨学金期間中にプロジェクトが研修生へ行う支援を紹介し、本プロジェクトマネージャーのパンダ教授、IITH プロジェ



クトチームメンバーファシリテーターのムドゥリカ・カンデレル(Prof. Mudrika Khandelwal)含む IITH の教員も同席しました。また本プロジェクトのフェーズ 1 で日本の大学にて博士課程を修了した FRIENDSHIP 同窓生と先輩研修員 3 名もゲストスピーカーとして招き、自身の留学体験や日本での生活に馴染むためのコツを新規長期研修員へ共有する場を持ちました。第 2 部では本プロジェクトフェーズ 1 研修生のサイ・チャンドラ・テージャ氏(Dr. Sai Chandra Teja)がファシリテーターとなり、6 名の新規長期研修員、先輩研修員、FRIENDSHIP 同窓生の間でフリートークの場を持ちました。各研修員が取り組む研究内容や、日本とインドの生活の違いや苦労の乗り越え方等についてざっくばらんに雑談を行い、FRIENDSHIP 奨学生同士のネットワーク強化の場となりました。

## 5. FRIENDSHIP2.0 奨学金プログラム PR イベント実施 (2022年8月)

FRIENDSHIP2.0 奨学金プログラムの第 1 バッチ奨学生を日本へ送り出す準備とともに、プロジェクトは第 2 バッチ募集に向けた PR を実施しています。募集開始は 11 月の予定ですが、IITH の指導教員と博士留学先指導教員と十分なディスカッションを行ったうえで応募できるよう、ジャパンデスクが 8 月 24 日にオンライン説明会を開催しました。50 名以上の参加者があり、関心の高さが窺われました。

説明会では、プロジェクトメンバーが応募要領の概要について解説し、続いてインドと日本をつなぐ様々な活動を展開し、日印交流に詳しい丹治大祐(たんじ だいすけ)氏が日本とインドの類似点と相違点などから日本留学の魅力満載のプレゼンテーションを行いました。またフェーズ 1 奨学金で北海道大学に留学し研究真っ最中の P.V. アンジュ(Anju P.V.)さんは日本での研究の楽しさや留意点を、FRIENDSHIP で博士号取得したマヘンドラ・クマール・パル氏(Dr. Mahendra Kumar Pal)氏とモヒット・ジョシ(Mohit Joshi)氏は留学から就職までの経験を共有し、日本留学の意義を語ってくれました。

ジャパンデスクは FRIENDSHIP2.0 奨学金プログラム応募についての質問を随時受け付けるほか、ポータルサイトで情報提供をしています。



(写真 8: 先輩による日本の研究室紹介)

## 6. JICA 教育協力 ウィークリー イベントへの登壇（2022年9月）

教育協力 ウィークリー イベントは、JICA、コンサルタント有志による教育協力 ウィークリー 運営事務局主催によるもので、「教育協力 プラットフォーム」の形成促進を目的とし、教育協力に関わる実務者（コンサルタント、大学、NGO/NPO、JICA等）を対象に実施される今年2回目となるイベントです。この一部として、産学連携セッション「持続可能な産学連携を目指して～産業界と大学の新たなパートナーシップ～」が9月8日オンラインで実施されました。このセッションで本プロジェクトから斎藤総括と中野（高等教育担当）がIITHと日本企業との産学連携推進活動の紹介とパネルディスカッションに登壇しました。他に日越大学、エジプト・日本科学技術大学、マレーシア日本国際工科学院と連携している株式会社リバネスの事例が紹介され、80名を超える参加者とともに活発な意見交換と議論が行われました。

本プロジェクトからは、相互信頼なくして産学連携なしといった本プロジェクトフェーズ1での経験や、本プロジェクトの活動の柱である、日本への留学奨学金制度や日印共同研究資金提供プログラムなどの組み合わせによる相乗効果などを中心にメッセージを発信しました。

## 7. FRIENDSHIP2.0 奨学金プログラム修了生交流会実施

2022年9月に修士課程、博士課程を修了する奨学生12名を対象に、9月15日にオンライン交流会を実施しました。同交流会は、各奨学生が日本での留学生活を振り返り、参加者同士で経験を共有し、交流を深めることを目的として行いました。食生活や言葉をはじめ日本の生活への適応、研究においては、様々な課題に直面しながらも、指導教員の助言、研究室メンバーと意見交換をするなど、各自のやり方で課題を克服した経験が共有され、それぞれ共感するところが多かったようです。日本での経験、研究成果を活かし、多くの学生が日本、海外の博士課程への進学、日本、海外での博士研究員、日本企業への就職など、それぞれの進路を切りひらいていました。また、多くの修了生から、日本への留学に関心を持つIITH学生に自身の経験を共有し、日本への留学を後押ししたいという声も聞かれました。今後も修了生がIITH、日本の連携の架け橋となってくれることを願っています。



（写真9：オンライン交流会の様子）

## 8. ジャパンデスクロゴコンテスト開催

ジャパンデスクを多くの方々に知ってもらうため、ジャパンデスクのロゴを作成することになりました。ロゴのテーマを「IITHと日本の学術及び産学連携が将来にわたって継続していく発展性のあるイメージ」とし、7月28日から8月17日にIITHの学生から公募でアイデアを募ったところ、6名の学生から応募がありました。

6つの応募作品はジャパンデスク運営委員会にて審査を行い、選定された1作品は10月末を目途にジャパンデスクポータルサイトにて発表する予定です。

## 9. 今後の活動予定

今後ジャパンデスクのイベント開催など様々な日印連携を促進するための活動が JICA プロジェクトチームの支援の下に実施されます。主な予定は下記の通りです。皆様のご協力、応援どうぞよろしくお願ひいたします。

- CEATEC国際展示会出展(幕張メッセ現地展示10月18日～21日／オンライン展示10月1日～31日)
- CEATEC国際展示会でのIITH紹介オンラインセミナー(10月19日13:30-14:30)
- JICA調査団による詳細計画策定調査(10月～12月)
- 第2回合同調整委員会(JCC)会合(12月1日@IITH+オンライン)
- FRIENDSHIP2.0奨学金プログラム第2バッチ研修員募集・選考(20名程度)——応募締め切り12月16日
- FRIENDSHIP2.0共同研究助成プログラム第2バッチ募集・選考(10件程度)——応募締め切り11月2日

### お問い合わせ・連絡先

株式会社パデコ内

JICA FRIENDSHIP 2.0 プロジェクト ジャパンデスク

Email: [lith.japandeskgeneral@gmail.com](mailto:lith.japandeskgeneral@gmail.com) (日本語)